

研究情報公開

受付番号	25-13
研究課題名	抑うつを有する脆弱性骨折患者の骨格筋量と日常生活動作との関連
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション療法部 作業療法士 荒木俊二
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>抑うつがある高齢の脆弱性骨折患者において、入院中の骨格筋量の増加と ADL の改善との関連を調査する</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方</p> <p>当院に入院した抑うつを有する高齢の脆弱性骨折患者様</p> <p>●利用するカルテ情報（調査データ）</p> <p>該当期間：2018年8月1日～2023年3月31日</p> <p>年齢，性別，骨折のタイプ，Charlson comorbidity index (併存疾患指数)，入院時 Geriatric Depression Scale15(抑うつ検査)，入退院時 Skeletal Muscle Mass Index(骨格筋量指数)，入退院時 Body Mass Index(身長と体重から算出する体格指数)，入退院時 Mini- Mental State Examination(認知機能検査)，入退院時 Functional Independence Measure（日常生活自立度評価），在院日数，1日あたりの平均リハビリテーション量，その他，研究をおこなうにあたり必要なデータの収集を行う．</p> <p>●カルテ情報の利用方法</p> <p>上記のカルテ情報は，患者様の骨格筋量の増加と日常生活活動の改善との関連を分析する材料とする．</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは，お名前，住所など，患者様を直接同定できる個人情報は削除します．また，課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが，その際も患者様を特定できる個人情報は利用し</p>

	ません. 加えて, 個人情報 ¹ は他の研究機関への提供はなく、対応表の研究機関間での授受 ² もありません.
研究期間	承認日～2030 年 12 月